
解決社長

- ① 3人組になります。
- ② 社長1人と社員2人の役割を決めます。
- ③ その都度、何の会社かを決めます。
- ④ 社長は椅子に座って、社員は走ってきます。
- ⑤ 社員Aが、「**社長、大変です**」と言って、トラブルを持ち込みます。その会社特有のトラブルを考えます。
- ⑥ 社長は、必ず「**それはちょうどいい**」と言います。
- ⑦ 社員ABは、「**ええっ**」と大げさに驚きます。
- ⑧ 社長は、トラブルをポジティブに受け取り、次の行動のチャンスに変えるような解決策を言います。現実離れしたものでもかまいません。
- ⑨ 社員Aは、手をたたいて「**さすが社長**」と言い、「**しかも〇〇ですよ**ね」と自分のアイデアを加えます。
- ⑩ 社員ABは、一旦去るが、再び、社員Bが、「**社長、大変です**」と言って、新たなトラブルを持ち込みます。
- ⑪ 社長は、「**それはちょうどいい**」と言って、また解決策を言います。
- ⑫ 社員Bは、手をたたいて「**さすが社長**」と言い、「**しかも〇〇ですよ**ね」と自分のアイデアを加えます。

【例】

③花屋

⑤社員A 「社長、大変です。花が全部枯れてしまいました！」

⑥社長 「それはちょうどいい」

⑦社員AB 「ええっ」

⑧社長 「ドライフラワーにしたら売れるぞ」

⑨社員A 「さすが社長。しかも長持ちしますよね」

⑩社員B 「社長、大変です。花が一斉にしゃべりだしました！」

⑪社長 「それはちょうどいい」

社員AB 「ええっ」

社長 「独り暮らしの老人の話し相手になる」

⑫社員B 「さすが社長。しかも高齢化社会でバカ売れしますよね」